

## 一般社団法人神奈川県バスケットボール協会

専務理事 半田真一郎

神奈川県バスケットボール協会は1952年(昭和27年)に結成され、2010年(平成22年)に当時会長であった阿部克三氏の強いリーダーシップのもと、全国に先立ち一般社団法人化されました。

現在は柿沼憲一会長のもと、副会長2名、専務理事(兼副会長)、常務理事4名、理事13名、監事2名の22名の役員で理事会を運営しています。会員は実業団、クラブ、学生、高等学校、中学校、ミニ、家庭婦人、専門学校の8連盟と川崎、横浜、横須賀、湘南、平塚、北相、小田原の7地区協会から構成されています。

本協会には、管理運営グループに総務部会、財務部会、広報部会、渉外事業グループに渉外部会、事業企画部会、競技運営グループに競技部会、審判グループに審判育成部会、審判割当部会、T0部会、審判審査部会、強化・育成グループに選手強化部会、普及育成部会、指導者育成部会が置かれ、専門委員会として、選手選考委員会、3x3委員会、殿堂委員会、倫理委員会、規律・裁定委員会、医科学委員会が置かれています。

各部会では以下の事業を行っています。総務部会は、理事会の開催、代議員会の開催、チーム・競技者の登録、協会冊子の作成、年間表彰式の運営、県協会功労者表彰祝賀会の運営、常務理事・部長会の開催。広報部会は、記念誌の作成、SNSの活用。事業企画部会は、財源確保、会員拡大、県協会の在り方を考える。競技部会は各カテゴリーの競技運営。審判育成部会は県内外の講習会・研修会。審判割当部会は割当会議。T0部会は講習会。審判審査部会は審判審査。選手強化部会は、国体選手強化、高校Bチーム選手強化、中学3年生選手強化、U-16選手強化、特別強化(海外遠征)。普及育成部会は、中学県選抜選手強化、中学選手育成ミニ選手育成。指導者育成部会は、各カテゴリー指導者講習会、県指導者講習会、指導者養成、資格管理。

また、各専門委員会では以下の事業を行っています。選手選考委員会は、国体スタッフ・選手選考、中学オールスタースタッフ・選手選考、ベスト5・優秀選手・優秀監督選考、監督の適格審査。3x3委員会は県選手権大会の開催。医科学委員会は指導者講習会とのタイアップ。殿堂委員会は候補者の選定。倫理委員会は、役員・職員の倫理及び懲罰に関する事。規律・裁定委員会は、チーム・選手・審判並びに主催する試合に起きた問題に関する事。医科学委員会は、選手・指導者・主催試合について医学及び健康に関する事。

さらに、トップリーグ支援プロジェクトとしてWリーグの運営、B.LEAGUEの運営協力も行っています。

現在、登録チームは2,143チーム、競技者は37,138人になり、全国で最大の規模となります。会長方針は、「すべてのカテゴリーにおいて日本一を目指す」となっております。近年では、B.LEAGUEの川崎ブレイブサンダース、Wリーグの富士通レッドウェーブ、東海大学(男子)、松蔭大学(女子)、中学オールスター(男女)などが全国優勝や準優勝を果たしています。しかし、国民体育大会や高校生においては苦戦が続いており、巻き返しが期待され議論されているところです。

当協会としては、トップリーグの発展、幼児からシニアまでバスケットボールの更なる普及と発展に邁進してまいります。

# 大和市体育協会

会 長 荻 窪 政 一

大和市体育協会は、昭和 27（1952）年 5 月 3 日に、前身の「大和町体育協会」が高座郡体育協会の下部組織として創立されました。その後、昭和 34（1959）年 2 月の市制施行を機に、当時の「渋谷村体育協会」と合併し、同年 5 月に「大和市体育協会」となり、同時に、種目専門部（陸上競技、バレーボール、バスケットボール、野球、剣道、柔道、卓球、庭球（現ソフトテニス）、バドミントン）が独立、以後、順次新たに競技団体を迎え現在に至っています。

現在では、24 加盟団体、会員総数では 1 万 8 千名を超え、平成 29（2017）年 5 月には創立 65 周年を迎えました。

本協会の主な事業としては、市からの委託事業で、各加盟団体が主管する「大和市民総合スポーツ選手権大会」があります。

この大会は、様々なスポーツの競技会を広く市民に提供し、競技人口の増加及び競技力の向上などスポーツの普及振興を図る趣旨で毎年開催され、今年度で第 49 回となります。実施種目は、陸上競技・水泳競泳を始め各種の球技や武道などの 23 競技に、老若男女を問わず幅広い市民の皆さんが参加し、日頃鍛えた技を競い合っています。



（大和市民総合スポーツ選手権大会の競技風景）

また、毎年「大和市スポーツ人の集い」を建国記念の日に開催しています。第一部の表彰式では、永年にわたりスポーツの普及振興に寄与した加盟団体の役員、並びに県・関東等のスポーツ大会において優秀な成績を挙げた個人又は団体を表彰し称えとともに、第二部では、スポーツ界で活躍されている方の講演会を開催し、市民の方にも参加していただいています。



「スポーツ医学講座」では、運動中などに心肺停止となったときに、冷静かつ適切な対処ができるよう、講師を招いて心肺蘇生法及び A E D の操作方法の実習を行っています。市内各所に A E D が設置される中、継続して取り組んできました。

その他、市事業では、「市駅伝競走大会」は企画から参画、当日はスタッフとしても協力し、「スポーツフェスタ」では市民向けのスポーツ体験に講師役で協力しています。

スポーツを巡っては、少子高齢化の進展や子どもの体力・運動能力の低下等の社会環境の変化に伴い、スポーツが果たすべき社会的使命は、より多面化し重要性を増しています。

本協会は、今後も、大和市におけるスポーツ団体の統一組織として、スポーツ振興を通じて市民の体力向上や健康増進等の公益に一層寄与すべく邁進してまいります。